



大野やすし 市政報告



〒343-0806 越谷市宮本町 1-94-3 電話/FAX 048-940-0155
携帯 080-3300-8100 アドレス y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp

3人以上の集まりがあれば市政
報告に伺います。連絡ください。

越谷市議会 4 月臨時会 (4/20) 及び 6 月定例会 (6/1~19) の概要をお知らせします。4 月臨時会では市長提出議案 5 件、6 月定例会では市長提出議案 14 件が提出・審議され、可決されました。6 月定例会で提出された請願 1 件は否決され、一般質問は 13 人が行いました。詳細は以下のとおりです。

また、私は、5 月 25 日付けで、所属会派保守無所属の会の代表に就任しました。なお、質問は、昨年 4 回連続で行っていることから、今回は、お休みさせていただきました。

市民のみなさんが感じる市政についてのご意見・ご要望、遠慮なくお聞かせください。

4 月臨時会 主な議案

・地方税法等改正に伴う条例改正

→固定資産税の負担調整措置を 24 年度から 26 年度まで実施し 26 年度に廃止することなどに対応して市税条例、都市計画税条例、国民健康保険税条例を改正した。

・一般会計補正予算

→国の 23 年度第 3 次補正予算にかかわる緊急雇用創出事業にかかる事業費の追加 (1 億 2 千万円)

6 月定例会 主な議案

・住民基本台帳法の改正及び外国人登録法廃止に伴う条例改正

→外国人登録原票が廃止され外国人住民についても住民基本台帳に記載されることに伴い、印鑑条例、手数料条例、斎場設置管理条例など 8 条例 1 規約を改正した。

・地方税法の改正に伴う条例改正

→昭和 42 年に課税 1 年前倒し等のため当時の金利水準から控除を導入したが近年ほぼゼロ金利であることから退職所得の所得割 10% 税額控除を廃止。また、法人実効税率引下げに伴い、県と市の法人市民税の増減を調整するため、県から市へたばこ税の一部を移譲した。

・工事契約

→仮称越谷市障がい児施設調整池整備工事 一般競争 (1 億 8,406.5 万円) 池中建設
→旧看護専門学校宿舍等解体工事 一般競争 (2 億 9,295 万円) 高元建設

6 月定例会 請願

・大飯原子力発電所の再稼働にあたり、国に意見書の提出を求める件

→再稼働にあたっては解決すべき多くの問題があるので慎重にとの請願が提出され、否決されました。私は問題があるが既に再稼働の方針が決定されたため反対としました。

★今回は、議会開会中以外の日頃の主な活動について、お知らせします。

放射線測定器の測定状況調査（4月23日）



◎昨年の12月定例会の補正予算で予算化され4月から運用開始した2台の放射線測定器。1台は第一給食センターに設置され、小中学校の給食用食材を測定し、もう1台は市役所第二庁舎に設置され、保育所の給食について輪番で測定しています。今回は、給食センターでの測定について会派で運用状況を調査しに伺いました。午前中に当日入荷の食材2～3品目、午後に前日以前に入荷の食材2～3品目を測定しているとのことでした。現場では毎月のメニューをもとに関心の高い食材を選んで測定するなど、食材の安全性に努力していることが伺えました。

市立病院事業概要調査（5月14日）



◎今年度5年ぶりに経常収支が黒字化した市立病院。まずは会派で事業概要全体的な話を聞きに伺いました。ポイントは脳卒中ケアユニットなど新診療報酬項目の獲得、PACS等によるフィルムレス化による経費の節減、10対1から7対1への看護体制の人員適正化（看護師57名増）による入院基本料の獲得など総合的な取組によるとのことでした。しかしながら、市民の期待は高く、窓口の改善や夜間急患診療所との連携など、今後も越谷市医療体制全体の向上の取組が必要と感じました。

こしがやファミリーサポートセンター提供会員初期研修参加（5月16日）



◎共働きなどで子育てに大人の協力を求めるファミリーサポート制度。助けてほしいと登録している人が684人なのに助けてあげると手をあげている提供会員が228人とまだまだ不足しています。そこで、提供会員登録のため年3回行われている研修を受けてきました。普通に暮らしている方であれば誰でも簡単な研修で登録OKです。まだまだ登録数が足りません。子育てに関心のある方の登録をお待ちしていますとのことでした。是非電話してあげてください。社協ファミサポ048-960-2311

大野やすしの3つの主張

「マイ・ホームタウン越谷」の実現に向けて

- 誇りを持てるまち越谷を築く
- しぶとい日本人の再生を目指す
- 簡素で効率的な行政体制を創りあげる

経験から取組む5施策

- 1 子ども・教育施策の推進
- 2 まちづくり・経済産業施策の展開
- 3 危機管理施策の強化
- 4 観光を通じた伝統・文化の活性化
- 5 行財政改革の徹底

経歴

S38年 宮本町生まれ、越ヶ谷小、中央中、越高、明大政経学部卒、s62～H23 東京都（建設、行革、防災等）

元越ヶ谷高校同窓会副会長

H23.4 越谷市議初当選

家族

父、母、妻、3男1女の8人家族